

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日高市	代表者名	日高市長 谷ヶ崎 照雄
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	042-989-2111
担当者役職	主幹	担当者氏名	秋葉 基樹
住所	350-1292 埼玉県日高市南平沢1020		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	限られた時間の中で、資料の特に重要な箇所について、分かりやすい比喻を交えつつ解説していただいた。また、資料作成の際、担当者が感じている課題に則したものとなるよう、調整していただいた。
アドバイザーへの要望事項	次回も引き続きよろしくお願いたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月13日	13時30分	15時10分		100
3-2. 派遣場所	会場名	日高市役所		最寄駅	JR高麗川駅
	所在地	埼玉県日高市大字南平沢1020		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(情報化推進委員)	11人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	「全庁的なマネジメント体制が構築されておらず、自治体DXをけん引できる人材がない」ため、庁内理解と意識改革を進める必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	DXが、従来のIT化やデジタル化とは異なることを全庁的に理解させ、政策レベルでデジタル技術及びデータの活用を進める機運を醸成し、持続可能な自治体経営を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	職員(情報化推進委員)に自治体DXについて講演を実施。自治体DXの概要や考え方のほか、DX推進体制の構築と進め方、当市の総合計画にどのように適用させていくかについて説明を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	関係職員に対し、自治体DXについての知識及び意識を啓発できた他、重要性を認識させることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	日高市のDX推進力を高めるためには、課長級以下に向けた研修を実施することが重要とのアドバイスをいただいている。目的達成のために、追加研修を実施することとした。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	研修を経営層に実施することで、自治体DXの本質を政策面から理解していただき、自治体DX推進体制の構築を推進する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

